

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和2年(2020)1月10日

No. 145

発行 高津啓洋

2020 謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

パラグアイ、レダで活躍する、

伊達事務局長から、ブラジル側から上がる、初日の出を送ってきました。パラグアイ河を金色に染め

て一瞬の出来事です。パラグアイの新年は、カトリックの国らしく、敬虔なお祈りから始まるとのことです。

緑豊かに育つ、レダ基地を中心に、図師さんが木々の剪定を始めています。図師さんは、23年間、庭師としての仕事をしてきた方で、シニアボランティアとして働いています。



越のポット苗づくり

レダを中心に、まかれた様々な木々の種が成長し、ポット苗づくりが行われています。今回、アルガロボ500本、モリンガ300本、アセロラ150本、ゴールデンシャワー

100本、ニームのポット苗1000本と大きくなった苗木40本などの植え替えをして、ポット苗をたくさん植え替えました。

レダにおけるポット苗づくりは、周辺地域の村々に大きく根を下ろしています。

特に青年奉仕隊などの活躍によって、オリンポ市のニームの街路樹。ディアナ村のニームの街路樹。レダの街路樹となって多くの人々に、安らぎの憩いの場を提供しています。下の写真は(左)ニーム、(右)モリンガ

